

令和2年度 地方創生推進交付金事業 実施結果

| 事業名 | 事業概要・目的 | 対象経費 | 令和2年度 決算額(千円) | | | 重要業績評価指標(KPI) | | | | | 新庄村地方創生推進委員会での意見 |
|--------------------|---|-------------------|---------------|--------|-------|-------------------------------|------|-------|--------|------|--|
| | | | 事業費 | 交付金充当額 | 村単費額 | 指標 | 目標年月 | 目標値 | 実績値 | 達成状況 | |
| 1 テレワーク人材育成事業 | 平成27年度からの継続事業であり、若い女性や子育て世代の女性のICTスキルを育て、東京の企業と連携してテレワーク就労できる体制を構築することで、転出の抑制と、首都圏等からシングルマザー等の移住を促進し、人口減少を食い止め、出生数の向上を図る。 こうした仕組みを整えつつ、将来的には、首都圏等からのUIJターンを促し、ソフト技術等を活かして田舎で働きたいIT技術者等の受け入れを行うことにより、地域内のIT技術者を増やし、高度なプログラム開発の仕事への対応強化や津山市との連携によるニアショア拠点化を図る。 | ①人材育成研修費 | 1,322 | 661 | 661 | 新規就業者数(テレワーカー登録者数) | R3.3 | 5人 | 3人 | 未達成 | テレワーカーの収入確保のため、スキルに合わせた仕事のマッチングやフォローを充実させていく必要がある。 |
| | | ②テレワークコーディネーター人件費 | 5,678 | 2,839 | 2,839 | | | | | | |
| 2 真庭版DMO推進体制支援事業 | 真庭市及び新庄村が加盟する真庭版DMO「一般社団法人 真庭観光局」がマーケティングを実施し、ターゲットを明確にしたプロモーションを実施していくことで、観光入込客数の増加を目指す。 また、本圏域の多彩な地域資源を活用した滞在交流型観光を強化することで、観光客の滞在時間の延長による消費額の増加で地域経済の活性化を図る。 | 真庭観光局への負担金 | 1,168 | 584 | 584 | 観光入込客数 ※事業開始前3,720千人からの増加数 | R3.3 | 162千人 | △124千人 | 未達成 | 新庄村の観光振興のために、村として真庭観光局の運営に積極的に関与するよう努めてほしい。 |
| 3 古民家宿泊施設運営・移住促進事業 | 村内の宿泊機能の強化を図ることを目的に古民家を改修して整備した宿泊施設の運営を通じて、交流人口の増加を目指す。 また、宿泊施設を利用した移住体験ツアーを実施して実際に新庄村を訪問してもらい、村の良さを感じてもらうことで、将来の移住人口の増加を図る。 | ①古民家宿泊施設の運営経費 | 4,800 | 2,400 | 2,400 | ①古民家宿泊施設の宿泊者数 ※対前年度増加数 | R3.3 | 24 | 265 | 達成 | 意見なし。 |
| | | ②移住体験ツアー開催経費 | 0 | 0 | 0 | | | | | | |
| 4 事業主創出事業 | 村内には働く場所が少ないことが移住・定住施策の課題であることから、村内で自ら仕事を生み出す事業主の創出と、移住・定住施策をセットとした事業を実施する。 事業内容としては、起業を目指す人材を育成する起業塾を開催し、年間を通して本村との関わりを持つことで本村に対する理解を深めてもらい、自らの望む生き方を村内で実現できると判断した場合、村内に移住、起業してもらうというものである。 | ①起業塾開催経費 | 2,429 | 1,214 | 1,215 | ①事業参加者のうち起業した人数 | R3.3 | 1人 | 1人 | 達成 | テレワーク事業や空き家対策と連携した事業主の創出、移住者への支援に取り組んでもらいたい。 |
| | | ②ホームページ構築及び管理経費 | 1,001 | 468 | 533 | | | | | | |